

なにわ名物研究会 NEWS

<第5号>
 2000年3月17日発行
 発行
 なにわ名物開発研究会
 〒542-0075
 大阪市中央区難波1-7-2
 SENOYAビル3F
 TEL・FAX 06-6213-5554



「のや」「ねん」は 大阪人の都会人らしい身のこなし 大阪弁快進撃の秘密をさぐる「大阪弁探検隊パート2」開催

一月十九日、道頓堀ホテルで二〇〇〇年の第一回公開事業が開かれ、尾上圭介日本笑い学会理事の講演「大阪弁探検隊パート2」を行なった。

「……のや」「……のん」という語尾で、相手に敬意を表す丁寧な口調を使いながら距離を取り去るのが、大阪人の都会人らしい身のこなしです。東京では「……のだ」という言葉に当たりますが、それでは尊大な印象を与えてしまい、相手との距離ができてしまう。大阪は歴史の中で、知らない人とも仲良くできるという都会らしさを育ててきた」と、大阪弁が持つ力を解説した。

などなどの看板や注意書きに言及、「そのものズバリを言い切るのが大阪の看板や注意書きの流儀。持って回った言い方にはテレを感じ、意識的に下品にしてみよう。「分かればよい」という合理精神で言葉を積み重ねることから笑いも生まれる」と、言葉の構造を分析した。

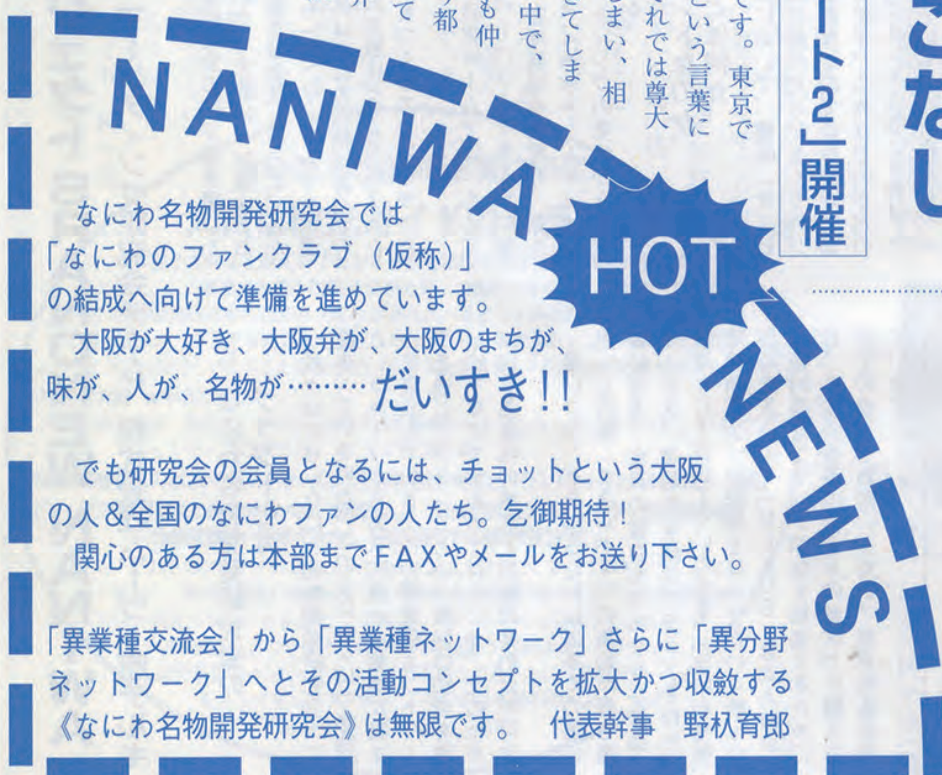
聴講者は二百人に上り、日頃、大阪弁に囲まれ暮らす人々も、身近なところに根付く文化を解説する氏の話に感心する一方、思い当たる節を喚起され笑いの渦に引き込まれた。

なにわ名物開発研究会では「なにわのファンクラブ（仮称）」の結成へ向けて準備を進めています。

大阪が大好き、大阪弁が、大阪のまちが、味が、人が、名物が…… **だいすき!!**

でも研究会の会員となるには、チョットという大阪の人&全国のなにわファンの人たち。乞御期待！
 関心のある方は本部までFAXやメールをお送り下さい。

「異業種交流会」から「異業種ネットワーク」さらに「異分野ネットワーク」へとその活動コンセプトを拡かつ収斂する《なにわ名物開発研究会》は無敵です。 代表幹事 野村育郎



皆さん!ご苦労様でした。 喝采浴びた「いきいきフェスタ」

十一月十七、十八日の二日間「いきいき大阪・中小企業フェスタ'99」(大阪商工会議所・大阪市主催)が開催された。当研究会が準備会として参加した平成七年から数えて五回目の参加となり、この事業を通じて研究会の会員となったメンバーも多い。

本年は「船場経済倶楽部」等との同時開催となり、昨年の約二倍の一万四百人の入場者があった。会員二十社が参加し、各々の商品・企業のPRと、この日に合わせて発行された「なにわ名物開発研究会NEWS第四号」と研究会パンフレットなどを配布して、研

会場で
ひととき目立つ
「チンドン屋」さん



連日大人気の
「なにわ名物」ブース

究会の情報発信・新規会員の掘りおこしに努めた。また、当

会個人会員の仲井敏治さんが参

加する「チンドン屋」さんが会場を練り歩き、来場者、参加者の喝采を集め、個性あふれるメンバーを誇る我がなにわ名物開発研究会のユニークな活動ぶりの一端を披露した。「いきいきフェスタ」の常連・名物出展者として、ますますその存在をアピールした二日間だった。担当の松本部長ほか会員交流部、イベントチームのみなさんご苦労様でした。

二月度 月例会は「ネクサスブランド」を

二月二十二日にSONY生命会議室にて二月の月例会が開催された。今回はゲストスピーカーは招かず、マーケティング研究チームのリーダー・原テルキさん(株式会社ムーヴ)による「提案プロジェクト」の説明がメインイベント。かつて神戸ファッションマートに席をおき、ファッション・雑貨・マーケティング・ブランド開発に精通した原さんならではの素晴らしいプレゼンテーションで、たいへん有意義な月例会であった(詳細は下欄を)。今後プロジェクトの主役は会員ひとりひとり。業種・業態の枠をこえた「ネクサスブランド」の開発を目指し、幅広い意欲的なメンバーの参加を呼びかけている。

提案プロジェクトBRANDNEW NANIWA

マーケティング研究会チーム 株式会社ムーヴ 原テルキ

なにわ名物開発研究会の設立趣意書にたしかに書かれていた。大阪はタコ焼き・お好み焼き・名物看板だけではない、と。しかしながら、近年より一層こてこてカラーは濃度を増し、それ以外はなにわ名物にあらずの感すらある。本来の主旨はどうなった? あたらしいなにわ名物をつくるのではなかったのか?

マーケティング研究チームでは、あえて「なにわ」のスーパーパワーであるタコ焼き・お好み焼き・名物看板を否定し、新たな「NANIWA」へのブランドイメージ創造へと、マーケティングの見地からアプローチし、提案する。

1、なぜブランドなのか。ブランドとは何か。

現在の商業社会において、商品(サービス)の価値は製品の魅力だけでなくそのブランドの価値に表われるのではない。市場を見ればあきらかで、これほどの不況の中にあっても人気ブランドは売上を伸ばし、多くの利益をあげている。同じ製品レベルであってもそのブランドによって価格が変わり、売れ行きが変わり、顧客の満足度が変わる。それがブランドの価値です。それはブランドの価値はどのように生み出されるのか。

2、ブランドの価値

ブランドの価値は二つの方向から決定される。ひとつは消費者が市場の中で支持する事。もう一つはその商品の送り手の強い意志と行動です。つまりブランドの価値は送り手の強い思いと行動が、受け手の何らかの反応を通じて確立し価値を生み出すのです。初めから価値を持ったブランドはない。まず、送り手の強い意志と行動が重要なのです。

3、なにわ名物開発研究会のブランドとは

我々はなぜ「なにわ名物開発研究会」に集まっているのか。この会は「なにわ名物」というキーワードの下に様々な業種が集まって成立している。この異業種ネットワークを通じてブランドという無形の価値を作り出す事ができるのではない。そのためには会員各位の意志と行動の集約が不可欠だ。

強いブランドを創るためには多くの強い思いと行動(エネルギー)の集約が最も重要になる。会員の皆さんのあらゆる製品、サービス、使用性を結ぶブランドを作り、資源として役立てていただき、「なにわ名物開発研究会」の発展をはかりたい。新しい価値を生み出す「NEXUS BRAND」連鎖的集合ブランド開発を推進するためにも、多くの会員の皆さんの意志と行動をもつての参加をお願いしたい。意見をもとめています。

よってらっしゃい、みてらっしゃい
何かオモシロイこと一緒にしませんか?
新入会員さん、随時募集中です。
なにわ名物開発研究会

〒542-0076
大阪市中央区難波1-7-2
SENOYAビル3F
TEL・FAX 06-6213-5554
または06-6211-0685
http://osaka-net.com/naniwa
E-mail naniwa@osaka-net.com

From 委員会

総務部会

当会のネットワークを生かした講師や会場で恒例の月例会は、十月は昭和初期に建築された大阪セルロイド会館にて、なにわ大賞準大賞の宮本順三さんに、グリコおまけ係長時代に物資や予算が無い中で子どもたちの意見を聞きながらおまけを考案されたお話を。十一月には毎年参加するいきいきフェスタの会場マイドーム大阪にて。十二月には趣向をかえて漫才師の平和ラッパさんを招いての講話。一月の新年交流会は当会名物人間ビンゴで盛り上がりました。なお、今年度は水の浄化に役立つ葦を使った紙材でオリジナル名刺を作成、引き続き受付しております。



平和ラッパさんご講話

今年度の大阪文化芸術大賞を受賞された際、三代目平和ラッパさんに漫才界のよもやま話をいただきました。漫才は古典落語とちがいで、ネタがオリジナルでその人の個性が前面に売りになる芸のスタイル。その技を磨くため、昔はまず新世界の厳しい客にもまれ、次に新開地、最後は道頓堀中座のステージと、順番に腕をあげていったお話を、最近の漫才は話や語りのテンポを早くしないと受けないので、じっくりと話芸で笑わせる形でなくなっており、これではよいのか？との辛口の評もあり、お笑いの世界も商売につながるものと勉強になる一日でした。

商品開発部会

部会で構想があがった商品企画によるチーム活動も活発化してきました。「大阪手拭いチーム」「大阪粥チーム」「元気菌(う)チーム」等々。町作りチームともリンクする「回り灯籠チーム」やマーケティング研究チーム提案の「なにわブランドの確立」プランとのジョイントなど研究会内を横断する活動も活発になり、こっちで「ポツッ」あっちで「ドバツッ」、むこうで「バタバタツッ」、どっかで「ドテツッ」、みんな「ガアアッ」と動き出していくと思っているのは私だけではないはず。当部会は登録部会員システムではありません。部会開催の際は全会員に情報発信します。奮ってご参加ください。

(商品開発部会長/藤井)

会員交流部会

私たち会員交流部会は木村担当副代表のもと、総勢十八名(二月末現在)のメンバーで活動中です。目標は「会員各社のビジネス交流の推進」。具体的にはギフトショーのような展示会に積極的に参加することで、対内、対外のビジネスチャンスをお会員に提供しています。

ぜひ、多くの意欲的な方に入会いただき、積極的に発言して「商売」をしていただければと思います。また、会員限定のメンバーングリストシステムをつくり会員

相互の情報交換ツールとして活用しています。松本好正までお訪ね下さい。

[abc nta-net.ne.jp]

(会員交流部会長/松本)

なに研

運河の町・小樽に参上

十月二十四日〜二十六日

日にかけて「大阪観光土産品協会(中村育二郎会長・株二つ井戸津の清)」の研修旅行で北海道を訪問した。大阪市から河野猛経済局長、堤道明都市観光課長も同行され、小樽・大沼・函館をおもな見学地とした。また、なにわ名物開発研究会の関係では先の中村氏のほかに、(株)西屋の滝川氏が参加された。



河野経済局長を囲んで小樽運河での記念写真。野村代表、滝川さん、中村さんの顔が見える。

設)でもいっぱいの状況で、さすが有数の観光資源を誇る北海道であった。

(野村)

今年「おおさか新名物」が決定 大賞は観光ガイドのトランプ

今年度で3回目を迎える「おおさか新名物開発事業」の本年度の実績が決定した。この事業は大阪小売商団体連合会、大阪市の事業としてスタートして、なにわ名物開発研究会も当初から実行委員会の一員として積極的に参加している。また、第1回目の「アイデア賞」を商品化したものが、当研究会のメンバーである幸成堂による「そろばん団子」であることは有名だ。今回は過去最高の1600通の応募があった。

(大賞)「大阪's トランプ」

大阪の観光名所、有名人、グルメ、名物を54枚のカードにしたもの。カードとして様々に楽しむほか、ポケットサイズの観光ガイドとして役立つ。

(審査員特別賞)「たこやきゴルフボール」

「大阪専用使い捨てカメラ」、「ひょうたんからコマ・印鑑」

(アイデア賞)「なにわ風流せんべい、西鶴はん」、「大阪市公認ゲームソフト・花火師の恋」、「全車両集合・圧縮タオル」、「通天閣モデル懐中電灯」他

※なお、これらのアイデアの権利は、主催者に属しますので、決して勝手に使わないで下さい。実行委員会に参加している当研究会の野村代表は「なにわ名物開発研究会の誕生があったからこそ、この事業もスタートしたと自負しています。アイデアの商品化についても今回から大商連傘下の組合さんだけでなく、実行委員会メンバーであるなにわ名物の会員さんにも資格があるようになります。ぜひ、ご関心のある方はお申し下さい」と語っている。

私たちが会員交流部会は木村担当副代表のもと、総勢十八名(二月末現在)のメンバーで活動中です。目標は「会員各社のビジネス交流の推進」。具体的にはギフトショーのような展示会に積極的に参加することで、対内、対外のビジネスチャンスをお会員に提供しています。

ぜひ、多くの意欲的な方に入会いただき、積極的に発言して「商売」をしていただければと思います。また、会員限定のメンバーングリストシステムをつくり会員

Information 会員紹介



企画職人の情熱があふれる

株式会社アイ・プランニング

アイ・プランニングは、イベント企画運営会社として、昭和六十一年に設立。企業のセールスプロモーション系のイベント企画・運営、及び業態開発・空間プロモーション企画をメインに手がけている。

社長の井原正博さんは、特にアメリカ村の地域づくりに情熱を傾けている。

「人が驚くような企画、イベントを仕掛けていきたい。ディズニードのように、全てのシーンで笑顔がある、一つの仕掛けがどんどん発展していく、そんなものを街で実験、挑戦してみたい」と話す。

大阪市中央区西心斎橋1-13-18
イナビル6F
☎06(6243)1997

バナナ・カステラでは業界のトップランナー

株式会社アオバ

バナナは、味はもちろんのことエネ

ルギー効率が良く、栄養が吸収しやすい、お腹にもやさしい、食べるとすぐ元気になるということで、フルーツの中でも根強い人気を誇っている。カステラは、古くはオランダから伝来した長い歴史のある、これまた人気のお菓子である。

その二つの人気物をドッキングさせたのが、アオバが製造するバナナ・カステラ「完熟バナナ」だ。バナナの形をしたカステラの中に、完熟バナナの白餡が入っている人気商品。関西のパン屋、スーパー、コンビニで絶賛発売中。

製造しているアオバは、昭和四十年創業し、バナナ・カステラでは業界一。他にも餡の中につぶつぶ栗が一杯の「栗入りもみじまんじゅう」などの商品を作っている。



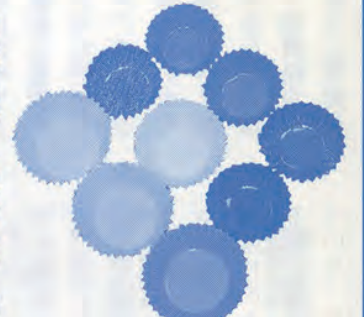
門真市上馬伏247-1
☎072(884)2591

環境問題にも配慮したフィルムケースで躍進

木村アルミ箔株式会社

アルミ箔・フィルムケース加工メ

ーカーの木村アルミ箔(株)は、「小さくてもユニークな会社でありたい」とのビジョンを掲げ、創業七十周年を迎える老舗。新社屋も完成し、さらなる飛躍が期待される。



カラーでないのが残念

同社が開発した惣菜用などに使用される樹脂製フィルムケースは、大手コンビニエンスストアの指定包装材料として採用され、注文があいつぎ、嬉しい悲鳴の毎日だとか。

人気の秘密は、電子レンジによる再過熱が可能な点で、いつでも作りたてのおいしさを味わえる上、他のフィルムケースと違い、様々なカラーがあり、食事が楽しくなるお洒落さにある。現在、紫外線カットフィルムケース、生分解性フィルムケース、抗菌フィルムケースなど環境問題や健康にも配慮した商品も開発中とか。

大阪市中央区高津2-1-21
☎06(6754)7263

新入会員紹介

(正会員)

喜田邦夫

サンシンスクリン工業(株)

印刷業(スクリーン印刷)、3D樹脂加工

鴻原森蔵

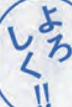
(株)こうはら本店養宜館

塩昆布小売販売(大阪市内5店

舗)、全国小売販売(通販)、ラ

イメン店(2店)、寿司宅配(1店)

山本 啓子 (株)山本泰双葉



三月一日から三日、大阪南港のインテックスにて春の「大阪ギフトショー」(ビジネスガイド社主催)が開か

れ、なにわ名物開発研究会から二十二社が参加した。設立準備会時を含む

速報 第二十三回大阪インターナショナルギフトショー出展

- 鰻割烹店甘党の店
- 角谷俊夫 (株)ナニワ
- 健食からコーヒー及びギフト用品等の卸
- 藤原俊一 (有)マックランド
- グラフィックデザイン、猫グッズ
- 企画・製造・販売、Tシャツ企画・製造・販売
- 高柄烈 (有)コーシン物産
- キムチを始め、韓国食材の製造・販売、キムチ宅配便(キムタク)、通販、業務卸、デパート催事(全国)、ギフト
- 森田寿一 (有)ウビ造形
- キャラクター・モデル製造販売
- スポーツ用品素材開発・販売
- (個人会員)
- 山田高説 東洋紙業(株)
- 企画デザイン/プランニング&ネットワークプロデュース
- 今西均治 ソニー生命保険(株)大阪中央LPC第一支社
- 生命保険業
- 橋本 誠 橋本薬店(天保山山岳会)
- 医薬品・雑貨小売、天保山GOO DS開発・販売
- 南 良平 ミナミ デポルテ
- スポーツ用品販売、合企画運営、各種旅行企画運営、スポーツイベントの企画・運営、スキー・スノーボードレンタル、オリジナルプリント
- 大井俊樹 はいじ工房
- 木の家具・クラフトなどの企画・デザイン・営業・製作販売、及び生活費のアルバイト(大工、看板屋など)

め、過去二回の出展は「地域活性化」等をテーマに特別出展であったが、今回は初の正式出展。積極的に各社ビジネスチャンスを獲得しようと、担当部会の会員交流部のかけ声のもと「たこやきキーキ」「たこべえ」「たこやきストラップ」「なにわのあぶら取紙」などおなじみの名物商品や、文具、携帯グッズ、環境商品、健康食品から不動産情報まで各出展社のプロパライのアイテムが所狭しと並べられた。今回も当研究会のブースは人気があつて、連日多くの来場者でにぎわった。